

オリンピックまでにはすべきこと

早稲田大学大学院教授 川本裕子

*多様な人々が自由に生きられる社会

*危機時の対応に弱い日本の組織

*10年前にやっと戻れた

*弱点を克服する都市整備が必要

*依然見えない財政再建の道筋

*NISA登場の小さくない意義

*ウインブルドン現象とマリーの勝利

*問題の多い日本の組織のガバナンス

*技術の優位性をいかに継承するか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はほぼ1年ぶりで川本先生においていただきました。今日も先生の元気なお話が伺えると思います。先週も竹中先生にこれからの経済政策を伺う中で、オリンピックまでのお話が出ましたけれども、今日は、まさに「2020オリンピックまでにはすべきこと」をお話しいただきます。先ほど「ちょっとばらばらな話になってしまふかな」とおっしゃっておられました。ここはたいへん知的レベルの高い聴衆の方々でいらつしゃいます。今日は川本先生が、皆さんの頭を使っていたとお話をいろいろされますので、くれぐれも居眠りなどなさらないでお願いします。（笑）それではよろしくお願ひします。（拍手）

川本 こんにちは。川本裕子でございます。どうぞよろしく。このようなお席でお話しさせていただきますだけみたいへん光栄に思います。昨年、それから3年ぐらい前も、その前も、春になりますと呼んでいただいて、ここでお話をさせていただくというのが恒例になっておりまして、この日を機会に私も洋服の色を春色に変えるというのが年中行事のようになっております。（笑）

多様な人々が自由に生きられる社会

今日は「オリンピックまでにはすべきこと」という題名をつけましたが、竹中さんも同じようなお話をしたというので、誰でも思いつくことなのだなと思ったりしております。（笑）私の